

# 電話の使い方



## 受話器はマイクの部分に

補聴器をつけて電話をお使いになる場合は、受話器のスピーカー（相手の声が聞こえる部分）をなるべく補聴器のマイクに近づけるようにしてください。補聴器が音をひろいやすくするためです。補聴器の形によってマイクのある位置が異なりますのでご注意ください。

### 耳かけ型

（ミニ耳かけ型、RIC/RITE補聴器を含む）

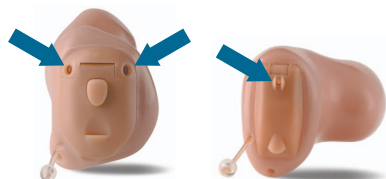
通常、受話器を耳のあなに当てますが、耳かけ型補聴器をお使いの場合は耳のあなに受話器を近づけてもよく聞こえません。耳かけ型補聴器のマイクは、耳のあなの位置にあるのではなく、補聴器の上部にあるからです。そのため、補聴器の上部のマイクに近くなるように受話器のスピーカーをあてて、電話から出る音をしっかりひろえるようにしましょう。



マイクの位置(例)

### 耳あな型

CICやカナルタイプといった耳あな型補聴器のマイクは耳のあなの位置にありますので、普通に電話をかける時と同じように、受話器を耳のあなにあてるようにしてください。



マイクの位置(例)

※音の入口が1つの場合と2つの場合があります。

## 携帯電話は雑音に注意しましょう

補聴器をつけて携帯電話を使うと「ジー」と雑音が入ることがあります。これは携帯電話から出ている電波を補聴器の回路がひろってしまうために入ります。雑音が入ったら、携帯電話の位置やあて方を変え、電波の影響を受けない位置をさがしましょう。また、電波の出方は携帯電話のメーカーや機種によって異なりますので、補聴器を購入される際にはご自分の携帯電話をお持ちになり、雑音が入らないか試してみることをおすすめします。

## 「ピーピー」と音が鳴ったら

補聴器をつけて電話の受話器を耳にあてると、音の反射が変わるため、ハウリングが起これ、「ピーピー」と音が鳴る場合があります。ハウリングが起きたときは、あわてずに受話器を耳から少し離したり、受話器のあて方を変えたりして、ピーピー音が鳴らない受話器の位置を探してください。受話器のあて方や位置を変えることで、音の反射も変わり、ハウリングもおさまります。



## 使いやすい方法を見つけましょう

補聴器をつけて電話を上手に使うためには、受話器のあて方や、補聴器との角度がとても大切です。普段から、雑音やハウリングが起これない受話器のあて方やよく聞こえる角度を探しておくようにしましょう。